

# 産学官連携人材育成支援 Gr.

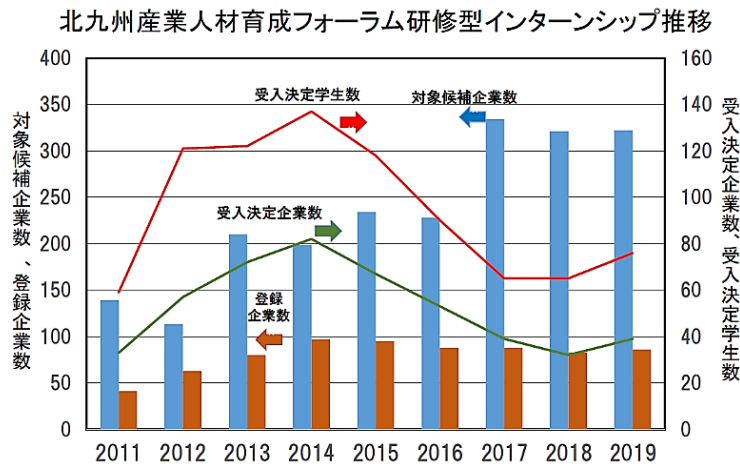
## 1. 北九州地域連携型インターンシップに関する事業

この事業は、北九州地域産業人材育成フォーラムからの委託により地域の活性化を目指して2011年度から継続している。KTSの役割は、インターンシップの学生受入れ企業の開拓とコーディネート業務である。

### 1) 研修型(短期)インターンシップに関する事業

研修型(短期)インターンシップは、夏休み期間の1~2週間を利用したものであるが、北九州地域にある理工系大学、北九州高専、産業医科大などの学生にインターンシップを通じて地域のものづくり企業を良く理解し、地域企業への就職率を高める狙いがある。

下の図は、研修型(短期)インターンシップの対象候補企業数、登録企業数、受入決定企業数、そして受入決定学生数の2011年度からの推移を示している。2015年度からは学生の就職環境が売り手市場に好転したことから受入決定学生数が減少傾向にあったが、2019年度は、地域のものづくり企業180社に対してKTSのコーディネーター12名が手分けして訪問した結果、受入決定学生数の伸びと86社から受入れ登録があった。



### 2) 実践型(長期)インターンシップに関する事業

実践型(長期)インターンシップは、将来の産業を担う人材育成のため、3ヶ月から半年の期間で行うもので、学生の教育効果が高く、企業にとっても手が付かなかった課題解決にもつながるものである。しかし、学校側の時間割等の制約から、対象は九工大と北九州高専の学生に限られている。

2019年度は、地域のものづくり企業180社に対してKTSのコーディネーター12名が手分けして訪問した結果、16社から受入れ登録があった。

### 3) 北九州高専長期インターンシップに関する事業

北九州高専は、本科4年生と専攻科2年生を対象として教育効果の高い2ヶ月から4カ月間の期間で行う長期インターンシップを実施しているが、KTSのコーディネーターは、受入先企業の紹介を行っている。

2019年度は、北九州高専からの希望に従って19社を紹介することが出来た。

## 2. 九工大産学連携部門へのアソシエイト派遣事業

九工大の要請により2017年度から産学連携部門へKTS会員1名をアソシエイトとして派遣している。

### 3. サポイン事業評価業務

九州経済産業局のサポイン事業の中間評価と最終評価並びに事業化支援業務を2013年度からKTS会員の個人契約ベースで行っており、2019年度は5名の会員が従事した。

### 4. 「SDGs勉強会」の開催

住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへの参画と会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催し、北九州市の取組へKTSとして独自の提言や課題解決を図ることにした。

2019年度は、企業経営の視点からSDGsについて書かれた日経文庫の「SDGs入門」をテキストとして、10月から隔月で3回輪講会を開催した。2019年10月に開催した第1回勉強会では、下の写真の通り北九州市企画調整局SDGs推進室から市の取組みについて説明があった。

